

まちの日記帳



広大な景色を一望

今年も神威岬灯台一般公開

9/18

小樽海上保安部では、海上保安業務を広く知ってもらうため、神威岬灯台の一般公開を行いました。

この日は天候もよく、また、普段入ることのできない灯台の内部が見られるとあって、全国各地から約850人が訪れました。「積丹ブルーがきれい」との歓声が響き、澄みわたる神威岬の絶景を堪能していました。

神威岬駐車場では、海上保安庁のパンフレットや神威岬灯台のペーパークラフトの配布、道内にある各灯台パネルの展示のほか、子供用の制服試着コーナーが設けられるなど、多くの観光客でにぎわいました。



俳句で感性を磨く

第4回少年教室「俳句に親しむ」

10/3

B&G海洋センターで第4回少年教室「俳句に親しむ」が開かれ、小学生5名が参加しました。

参加者は、講師が用意した栗やホオズキ、身近な生活などを題材に自由に俳句を詠んでいました。また、参加者の中には1年生もいましたが、普段から学校の授業などで俳句を学んでいるということで、戸惑うことなく、興味のあるテーマについての俳句を詠んでいました。

参加者が詠んだ俳句について、講師を務めた美国踏青俳句会の成田智世子会長は、「大人には見られない優れた感性」と講評されました。

今回詠まれた俳句21首は、11月3日からの積丹町文化祭（展示の部）に出品される予定です。



残念！今年が最後！

婦美収穫祭

10/9

今年で27回目を迎える婦美収穫祭（佐藤互実行委員長）が婦美町のグリーンホリデー前駐車場で開催され、今年も町内外から新鮮な農産物を求める来場者でにぎわいました。

この収穫祭は、地元で採れた新鮮な農産物を格安で販売するため、午前10時の開始前から来場者が長蛇の列を作り、ジャガイモやカボチャなど用意した野菜の中には、午前中に売り切れるものも出るなど、収穫祭は大盛況でした。

しかし、婦美収穫祭は今年が最後となり、毎年恒例のイベントに寂しい思いはありますが、地域の活性化のために、長年続けてきた農家や関係者の皆様に感謝とお礼を申し上げます。



緊急事態に備えて 火災避難訓練を実施

10/19

北後志消防組合積丹支署（俵谷宗義支署長）と社会福祉法人よいち福祉会（亀尾毅理事長）は、地域密着型特別養護老人ホーム「ゆるり」で火災避難訓練を行いました。

訓練は施設内で火災が発生したことを想定。施設職員により入所者19人の円滑な避難が行われ、入所者の避難の完了とあわせて、消防士たちが放水による消火訓練を実施しました。

本荘施設長は「入居者のスムーズな避難誘導ができた。今後も定期的に訓練を行い、入居者の安全に努めます。」と話していました。また、同職員も消火器を使用した消火訓練を行い、緊急時に備える意識を高めていました。



心を癒やす自然とのふれあい 平成28年度国有林自然散策会が開催

10/22

石狩森林管理署と町、(国研)森林総合研究所森林整備センター札幌水源林整備事務所の三者共催による国有林自然散策会が行われました。

この催しは、山に親しむ機会の増加や山の恩恵への感謝を趣旨として実施されているもので、今年で4回目です。

当日は、あいにくの天候でしたが、紅葉で彩られた林道約2.3kmを歩き、秋を満喫しました。また、普段は目にすることがない、大型高性能林業機械の見学も行われ、参加者からは、樹高約12mのトドマツの伐採の瞬間に驚きの声が上がっていました。



15人が奏でるハーモニー 美国中学校吹奏楽部定期演奏会

10/22

総合文化センターで美国中学校吹奏楽部（入間川陸翔部長・部員15名）による定期演奏会が開催され、町内外から約130人が鑑賞しました。

この日の演奏会は2部構成で、第1部は3年生が札幌地区アンサンブルコンクールで銀賞に輝いた「3つの小品」など5曲を披露。第2部では「宇宙戦艦ヤマト」や「ki・mi・ni・mu・chu」等のポップス6曲を演奏し、会場を沸かせました。

また、演奏の合間には来春卒業する部員6人の紹介と花束の贈呈も行われ、練習の成果を存分に発揮した15人全員に拍手が止みませんでした。

